

# 米国から被災地へ祈り

## 創立100年の南加岐阜県人会

### 水谷会長が 震災義援金を手渡す 知事と面談

昨年、創立100年を迎えたアメリカの南加（南カリフォルニア）岐阜県人会のハッピー水谷（会長49）が、岐阜市出身の古田肇知事を訪れ、記念式典へのお礼と、会員らから寄せられた東日本大震災被災地への義援金を手渡した。

県人会は1911（明治44）年創立。現地に住む県出身が岐阜にゆかりのある人が親睦を深めている。昨夏開いた記念式典には、岐阜からも県日米協会員や県議、県関係者らが出席し、岐阜と現地

昨年、創立100年を迎えたアメリカの南加（南カリフォルニア）岐阜県人会のハッピー水谷（会長49）が、岐阜市出身の古田肇知事を訪れ、記念式典へのお礼と、会員らから寄せられた東日本大震災被災地への義援金を手渡した。



古田肇知事（奥左）と面談するハッピー水谷会長（中央）＝県庁

「皆さんに来ていただき感謝した。注目度も上がり、会員も100家族を超えた」と語り、ニューヨークなど他の県人会との交流も深まったと報告。古田知事は「1世紀にわたり岐阜を思い続けていただき、大変ありがたい」とお礼を述べた。

水谷会長は震災から1年の同時刻に、ロシア

ンゼルスで県人会有志が黙とうをささげたことを明かし、会員らの善意2146ドル（約18万円）を日本赤十字社に寄せた。また、秋のぎふ清流国体開会式に会員らと訪れることを約束。古田知事はお礼を述べ「ぜひ機会をみて訪れたい」と話した。（久松孝志）